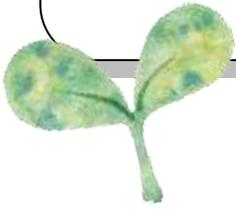


69期生

3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年11月14日(月) No.26



だんじょきょうせいきょういくこうえんかい 男女共生教育講演会がありました！

10日(木)の5・6限目、婦人科医の藤田 由布先生を講師としてお招きし、男女共生教育講演会がありました。1年生の時には、誕生学協会の澤田先生から誕生学のお話を聞き、2年生の時はCAPの方からデートDVのお話を聞きました。今年は、婦人科のカーテンの中のお話や、子宮頸がんワクチン、生理痛撃退法、性感染症など、なかなか普段聞くことのできないお話を聞くことができ、正しい知識を知ることができました。これまで学習したことを忘れずに、知識を身に付けて、自分や大事な人たちのいのちを守るような大人になってほしいと願います。

みなさんの感想より♪ (一部抜粋)

婦人科などであつかう病気のことをここまでしっかりと聞いたことがなかったので、とても勉強になりました。特に印象的だったのは、生理痛などがひどくても、婦人科に受診しても良いということです。これまで婦人科は、大人の女性が妊娠した時などしか行かないと思っていました。しかし、学生の多くが悩んでいる問題などでも婦人科に受診しても良いと知り、婦人科のイメージが変わり、気軽に相談しても良いんだと思うことができました。

140mlと数字で表されてもいまいちわからなかったのを、女子ならはだけど、わかりやすく説明してくれていたのので、理解しやすかったです。自分以外でも同じ学校の子や、この世の中の女性でも生理痛等で悩んでいる人がいることが知れたので、少し安心しました。今回個別相談会には行かなかったけど、親や近所の産婦人科に行く機会があれば、色々相談してみたいと思いました。



女性が抱えている生理等の問題はとても大変で、苦労していることや、性感染症は女性のみならず、男性の問題でもあること、性感染症の一つで人生が180度変わってしまう、とても恐ろしい病気で、そのようなことを防ぐためにも、病院に行ったりすることなど、対策を考えることが大切だと感じた。



女性が子宮頸がんになり、年間で3,000人の人々が亡くなっていると聞いて、怖いなと思いました。ワクチンを打つのと打たないのでは、全然違うと言っていて、少し打ってみようかなという気持ちになりました。今回の話を聞いて、自分の体に少しでも気を使ってみようかなと思いました。

日本の婦人科の人たちは、必死にワクチンの接種をおススメしてくれているのに、政府がそれを止めていたり、値段が高かったり、接種率が1%しかなかったりすることに驚きました。また、ピルの値段も高く、女性の負担が多いのも日本の課題だと実感しました。そして、重たい話や難しい話を藤田さんがわかりやすく、おもしろくしてくださり、ありがとうございました。

男女関わらずかかるウイルスや菌などの話を聞いていて、自分にも起きるかもしれないということを知れてよかったです。そういう病気になり、怖い思いをしたくないので、ちゃんと調べておくことも重要なんだなと感じました。

女性が一生で450回も生理があるということに驚きが隠せませんでした。男性はあまり関係ないという感覚から、知っておくべきことだという意識に変わりました。

日本は女性への理解などがかなり遅れているなと思いました。最後の実話のところでは、特に男性の無責任さを痛感しました。自分はそんなことにならないように、性感染症や女性への理解をしようと思いました。

普段、あまり触れることがないデリケートな話を詳しく知れてよかったです。ワクチンのことも全然知らなかったけれど、ウイルスの話聞いて自分でも調べてみようと思いました。そして、性行為による危険があんなにたくさんあることがとても驚きました。自分にも十分関係ある話だったので、こんなお話を聞ける機会があって、本当に嬉しかったです。

産婦人科の色々自分の知らないところを聞いてよかったです。私から見て、産婦人科は怖いというイメージがありました。しかし、藤田さんのような人だったら大丈夫なのかなと少し安心できました。生理の重い人は我慢しなくてもいいという言葉はすごく安心できました。子宮頸がんもすごく怖いものだとは知れたので、ちゃんと考える機会ができました。

これから大人になる私にとって大切なことだけど、なかなか周りに聞きにくい話を藤田先生が分かりやすく教えてくれて、男性もワクチンを打つことによって子宮頸がんを防ぐことができるんだ！とか、生理痛を我慢する必要はないんだ！とか、自分にとって為になる話ばかりで勉強になりました。

普段教えてもらえないことを教えてくださり、本当に良い機会でした。HPVワクチンのことを初めて聞いて、困ったことがあれば、産婦人科に行ってみようと思いました。藤田さんの話し方が分かりやすく、すんなり頭に内容が入ってきました。

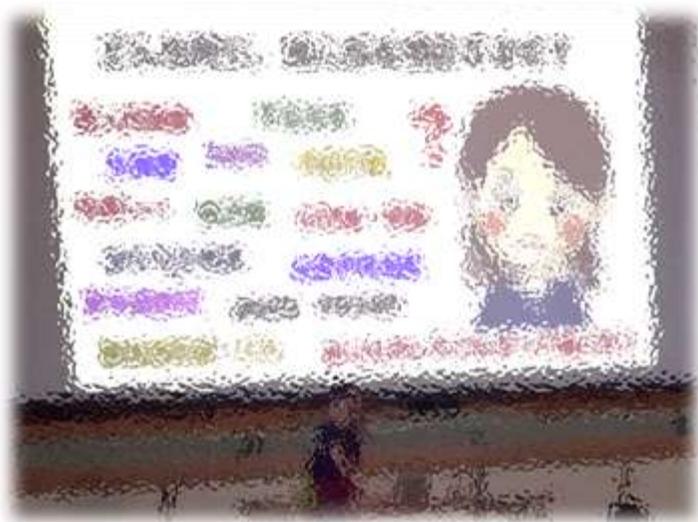
もし方がパートナーができれば、もちろん自分の体もだけど、相手も守れるように気配りしたい。日本でピルが広がっていないのは知っていたが、ここまで割合が低いとは思っていなかった。

今日のお話を聞いて、そもそも生理のこととか、性感染症のこととかを知ることが大切だと思った。だから知れてよかったです。また、HPVワクチンのことは以前から知っていたのですが、副作用が少し怖かったです。でも、今日のお話を聞いて安心しました。何かあったら、藤田先生の病院に行きたいです。



自分は男だから生理のことはわからないけど、女性は子どものこともあるだろうし、大変だなと思った。また、性感染症は誰にでもなる可能性があるので、勉強になった。これからも活かしていきたいです。

最後の夫婦の話が印象的でした。病気のせいで、亡くなったり、子宮をとらなければいけなかったりするの、絶対ワクチンを打ちたいなと思いました。生理の時、痛みを我慢してはいけないんだなと思いました。



産婦人科は女性の方のみが行くところだと思っていました。

また、子宮頸がんという言葉も初めて聞いたし、少し難しかったです。でも、男性でも、女性の生理のことを知ると、それは相手への気遣いにもなるし、とてもありがたかったです。

おらせ

あさひほうそう じょうほうばんぐみ
朝日放送 情報番組「おかえり」

ふじた ゆう せんせい いちにちみっちゃくしゅざいほうえいよてい
藤田 由布先生の一日密着取材放映予定！！

放送日 11月25日(金) 15:45～

※放送日時は急に変更になる場合があります。

五中での講演会の様子も短時間ですが放送予定です。ぜひ、ご観覧ください。

